

一 般 質 問 通 告 表

平成28年第2回始良市議会定例会（6月20日（月） 午前10時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 和田 里志	1. 災害対策について	<p>4月14日夜及び16日未明に発生した熊本地震は、気象庁震度階級では最も大きい震度7を観測し、建物倒壊だけでなく、道路や橋などの損壊、土砂崩れなども多発した。同じ九州管内で本県に隣接し、もろい火山性土壌が共通するなど、教訓にすべきことは多いと思われる。そこで以下について本市の現状と課題を問う。</p> <p>(1) 災害時支援協定について、隣接市町村との連携及び民間事業所・各種団体等との支援協定締結の状況と内容はどうなっているか。</p> <p>(2) 防災備品・食料品等の備蓄状況について</p> <p>(3) 各自治会の防災備品等の管理と活用、その把握について</p> <p>(4) 災害ごとの避難所の周知とその見直しについて</p> <p>(5) 災害時の情報提供と防災情報の提供について</p> <p>(6) 仮設住宅の建設用地確保について</p> <p>(7) 災害対策について</p>	市 長 教育委員長
	2. 校区コミュニティの現状と自治会加入促進、(通称)自治基本条例の制定について	<p>少子高齢化や核家族化、都市化などにより、地域の連帯感が弱くなり、防災・防犯、福祉、教育など多くの分野で、個人や個別の団体、行政だけでは解決できない課題が増えており、これらの解決のために、住民一人ひとりが自分たちの共通の課題として捉えて、お互いに話し合い、行動することがますます重要で、地域課題の解決や活性化に向けて取り組む横断的な地域コミュニティを構築する必</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>要が生じてきているとし、17校区のコミュニティ協議会を発足させた。 そこで以下について問う。</p> <p>(1) 当初想定されたとおりの協議会が設立されたか。</p> <p>(2) 各コミュニティの運営状況と支援員の役割はうまく行っているか。</p> <p>(3) ほとんどが各自治会長等の役割分担制で、その任務、仕事量が増えているか。</p> <p>(4) 自治会加入促進について、市の役割とコミュニティの役割をどのように考えるか。</p> <p>(5) (通称) 自治基本条例の制定に関する考え方及び見通しについて</p>	
2. 湯川 逸郎	<p>1. 始良公民館グラウンドの排水対策について</p> <p>2. 宮田が丘布目瓦窯跡の公園化について</p> <p>3. 災害に強いまちづくりのために</p>	<p>始良公民館のグラウンドは雨天時に排水が悪く、ぬかるみが多いが、多数の利用者があり、改善を求める多くの要望がある。</p> <p>水はけを良くするため、早急にグラウンドの整備を行う必要があるのではないかと。</p> <p>船津地域土地地区画整理事業の宮田が丘布目瓦窯跡の公園化計画について、具体的に説明せよ。</p> <p>高速道路のスマートインターチェンジへの乗り入れ事業が進展しつつあるが、今回、熊本・大分県の地震災害を考える時、災害に強いまちづくりを進める上で、災害避難道路として松原から高速道路の2連ボックスを活用して蒲生方面に避難道路としても早急に整備すべきと思う</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>4. 認可外保育施設補助金等の交付要綱の内容充実について</p>	<p>が、計画実施はいつになるのか。</p> <p>(1) 平成28年3月29日、安倍総理記者会見で「待機児童ゼロ」の実現を目指し、「未就学児のみならず小学生の学童保育も含めた方針」が会見で述べられた。それにさきがけ、昨年12月議会で始良市の認可外保育施設補助金等について質疑を行ったが、その後の対応はどこまで改善されたか。</p> <p>(2) 認可外保育施設補助金等の交付要綱内容について充実を図る必要があると感じ、鹿児島市・霧島市を研修した結果、始良市は認可外保育に関する補助対応は非常に遅れていると感じた。</p> <p>例えば、霧島市では、施設に対して入所児童6人以上で、年額2千円×年間平均利用者数+管理補助金年7万円、運営補助金として入所児童の給食に要する材料費、保育に直接必要な保育材料費、炊具食器費、光熱水費等が補助されている。</p> <p>また、鹿児島市では、市民税が10万3千円未満の保護者に毎月上限1万6千円、施設に対して施設運営費1人：月2,100円、施設費：月14,300円、管理補助金：年7万円、障がい児1人：月1万8千円、子どもの心が育つ運営補助金（絵本等）6人～20人：年7千円、研修費補助として研修に要した費用の2分の1（上限3万4千円）、冷房補助（6月～9月）：111円×人数、暖房補助（10月～3月）：190円×人数、健康診断10人以下：87,600円、11人～20人：98,400円、歯科検診10人以下：37,200円の補助であるが、</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>始良市は、保護者に年1万円を限度として、施設への補助は全くない。このことについて、市長の見解を問う。</p>	
3. 森 弘道	1. 大雨による排水対策や土砂災害等危険地域の整備について	<p>これから本格的な梅雨のシーズンを迎えるが、床上・床下浸水や道路の冠水、土砂災害の恐れのある危険地域の排水対策などの整備は進んでいるか。</p> <p>農地が宅地化され、少しの雨で既存の用排水路が能力を失い、低地にあふれ、家屋や道路が冠水して、危険な状況にある。</p> <p>平成5年8月6日、本県を襲った集中豪雨は百年に一度の豪雨と言われ、始良地区では1時間降雨100.2ミリを記録した。最近の異常気象では、このような状況が頻繁に起こりうる状態にある。市民の生活安全のために防災、減災に最大限の努力をしなければならない。</p> <p>(1) 住宅地の床上・床下など、浸水の恐れのある地域は何か所で何戸数あるか。また、その地域の住民や自治会長とは避難等を含め、連絡態勢はとれているか。</p> <p>(2) 本年5月10日、大気の状態が不安定になり、集中的に激しい雨が降ったが、この時の被害状況と対応について説明を求める。</p> <p>(3) 思川土地改良区管理の五社神社前を流れる用水路は、濁流が県道にあふれ、低い住宅地の道路は川のように流れた。この用水路の排水問題は平成26年9月議会で質問したが、改善されたか。分水路のところを一部補修してあるが、効果はないようである。この点について認識されているか。補修費用はいくらであったか。また、改</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 道路の白線ライン引きについて</p>	<p>良区との折半か市単独の補修か問う。</p> <p>(4) 宅地造成等開発に伴う現在の指導要綱では、短時間降雨強度式の計算で1時間当たり133.1ミリとなっている。平成5年8月の豪雨災害以前とその後の強度降雨について、現在までどのように数値が変化してきているか示せ。</p> <p>(5) 県の事業として始良市が要望して取り組んでいる次の事業について、その後どのように改善されたか、進捗状況を問う。(平成26年9月議会答弁から)</p> <p>①土石流危険渓流箇所のうち要整備箇所31か所中で、法面改良対策などの整備が完了した箇所が15か所、整備率24.2パーセントであることについて</p> <p>②急傾斜地危険箇所351か所のうち要整備箇所31か所中法面改良対策などの整備が完了した箇所が12か所、整備率38.7パーセントであることについて</p> <p>(1) 横断歩道や車道と歩道の分離帯、一時停止などの白線が消えているところは、子ども達の登下校に非常に危険な箇所があり、保護者や見守り隊の人達もいつも冷や冷やしている。この実態を把握しているか。消えた白線のライン引きはどのようにするのか。業者に委託か、簡単な停止線など市独自でできないか。また、道路改良により広くなったところのライン引きはどうなるのか併せて問う。</p> <p>(2) 自治会長や学校等(スクールゾーン対策委員会)から、ライン引きについて</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 熊本の地震を教訓とした始良市の庁舎建設について	<p>の要望は出ていないか。道路管理者として市内全体の把握は困難と思われるので、自治会長や学校等から必要箇所の報告をもらうようにしたらどうか。道路管理者の未整備、不注意による事故は損害賠償の対象となる。このことを考えれば早目の対応が必要である。</p> <p>(1) 松原なぎさ小学校、消防庁舎、あいら斎場など一連の大型予算の建設が計画どおり進み、いよいよ本丸、市庁舎の建設となる。4月の熊本地震で庁舎が損壊した自治体では、行政機能や防災の司令塔を失い、大変な事態になっている。</p> <p>このことをどのように受け止め、庁舎建設に取り組むのか問う。</p> <p>(2) 庁舎建設の構想に地方創生事業を取り入れた建設は考えないか。国の方針としては、ソフト事業が中心であるが、ソフト事業と密接に関連するハード事業（施設整備事業）の場合は交付金の対象となる。市民の交流の場としての施設は、運用面で対象事業につながると思うがどうか。</p> <p>(3) 庁舎建設以外で、耐震基準を満たしていない施設があるか。何件で、どのような施設か問う。</p>	市 長
4. 田口 幸一	1. 空き家対策について	<p>(1) 始良市の空き家の実態はどのようになっているか。</p> <p>(2) 権利者への連絡はどのようになっているか。</p> <p>(3) 空き家対策に関する取組みはどのようになっているか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 市営住宅の実態について</p> <p>3. 「人生の終い方（しまいかた）」について</p>	<p>(1) 各市営住宅の入居率はどのようになっているか。</p> <p>(2) 抽選はどのように行われているか。</p> <p>(3) 家賃の滞納の実態はどのようになっているのか。</p> <p>(1) 本当に寄り添える「看取り」ケアをどのように考えるか。</p> <p>(2) 実態を説明せよ。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
5. 本村 良治	<p>1. 通学路の安全確保について</p> <p>2. 特別支援教育について</p>	<p>学校における豊かな教育活動を保障するために、行政は通学路の安全を確保することが大切である。通学路の点検の実態とその後の改善策はどうか。</p> <p>特に、重富中の弓道場横の側溝整備については、数回議会でも取り上げてきた。</p> <p>(1) 市内の通学路の危険箇所の点検整備はどうか、具体例を挙げて説明せよ。</p> <p>(2) 重富中の側溝整備について現在の進捗状況はどうか。</p> <p>(3) 先の議会の答弁書では道路の線形について触れている。具体的に説明せよ。</p> <p>現在、始良市内の学校で取り組んでいる支援教育の中で、いろいろな実態が明らかになってきた。</p> <p>(1) 保護者との面談についてどのように指導しているか。</p> <p>(2) 弱視児童をもつ保護者の思いをどのように把握しているか。</p> <p>(3) 地区内、県下における弱視児童への支援体制はどうか。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 介護問題について</p>	<p>(4) 教育効果を高めるために、弱視児童支援教育または類似した教室を開設する考えはないか。</p> <p>最近、介護を取りまく課題について新聞報道がなされているが、本市と国の介護行政の実態について問う。</p> <p>(1) 始良市における介護現場における実態について具体的に説明せよ。</p> <p>①介護施設数 ②待機者数 ③今後の増設の見通し</p> <p>(2) 国の施策により、介護労働者の待遇改善はどう図られてきたか。</p> <p>(3) 介護労働者の待遇は、他の業種の労働者に比べてどうなっているか。</p> <p>(4) 来年4月から開始される新総合事業について具体的に説明せよ。</p>	<p>市 長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手

